

# ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録 3 : 8

VOL.01-05 NO.005 2009年8月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール:[nanbu-kyokai@nifty.com](mailto:nanbu-kyokai@nifty.com)

URL:<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

## 行動で示すこと

橋本幸夫

「また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」

(ヤコブの手紙 1 : 22)

東洋の古い寓話にこんなものがあります。すばらしいオパール指輪を持った人がいました。誰でもその指輪をはめると、その性質が優しくなり誠実になりすべての人々に愛されました。

その指輪はお守りでした。この指輪は父から息子へと伝えられました。そしていつも効きめがありました。年月が経過して、この指輪は三人の息子を持つ父親に受け継がれました。

その父親に死が近づき、指輪を伝えるときが来たとき、父親は他に二つの指輪を造らせました。それは、誰も違いを見分けられないほど本物そっくりにつくられていました。

彼は死の床に息子をひとりひとり呼び入れ、別々に指輪を一つずつ与えました。まもなく三人の息子たちは、めいめいが皆指輪をはめているのに気づき、どれが本当の指輪であるかについて論争になりました。

この事件は賢明な裁判官の所へ持ち込まれました。裁判官は指輪を調べ沈黙しました。やがて彼は言いました。「私にはどれが魔法の指輪が分かりません。しかし、あなた方がそれを証明できます」と。

「私たちがですって」と息子たちは驚いて尋ねました。「その通り。なぜなら、もし本当の指輪がそれをほめる者の性格に優しさを与えることが真実ならば、その人の善良な生活によって、私もこの町にいる人々も本当の指輪をはめている人を見分けられるでしょう。

だから、それぞれ自分の方法でやりなさい。親切、誠実、勇敢な生活でありなさい。これらのことを行った人が本当の指輪の持ち主なのです」と裁判官は答えました。やはり人の性格は、その生活によって証明されるのです。

思想や主義、または団体、文化を批評する場合、問題は結局「この団体や思想や文化がいかにか管理されているか」ではなく、「どのような人を造り出しているか」と言うことではないでしょうか。

「こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。」(マタイの福音書 7 : 20)